

宗谷南農協通信

No 14



(パネルディスカッション後のひと安心の笑顔)

- 枝幸町就農者誘致促進セミナー
- 北海道農政部長 牧場視察
- 農作業中の事故及び
「防災の日」について
- 道北ホルスタイン共進会

- 退職のご挨拶
- 北海道日本語学院札幌本校との
連携協定書締結
- Aコープ職場体験
- 授精所便り
- JAグループ通信

枝幸町就農者誘致促進セミナー

『若者の夢が叶う酪農郷・北海道枝幸町』



8月23日、歌登フォレストピアホールにて、3年振りとなる枝幸町就農者誘致促進セミナーが開催されました。

当日は新型コロナウイルス感染拡大防止策として、入場前の検温、抗原検査の実施等を行い、道内の農業関係者や農業関連大学生、新規就農者、関係機関など約100名が参加されました。

セミナーの始まりは、JA浜中町会長理事の石橋榮紀会長の基調講演『地域生き残りをかけて、JA浜中町の取り組み』と題し、JA浜中町の概要を説明し生産基盤維持と地域づくりの取り組みを紹介され、今後の目標として地域経済を守る、クリーンな生産環境維持、地域づくりのネットワーク構築、消費者に評価される牛乳づくり、多様な経営体づくり等を講演されました。

続いて北海道農政部の宮田大部長は、『北海道酪農の展望と可能性について』北海道で酪農経営を目指す皆様へ』をテーマに、北海道の酪農の現状や傾向、生乳等の需給推移、経営安定対策等や新規参入による各地域の取り組み等を分かりやすく説明して頂きました。

また、枝幸町農林課による枝幸町の新規就農者への支援体制、JA宗谷南から研修制度について、北海道農業公社による農場リース事業について、JA北海道信連旭川支所融資課からJAバンク北海道における就農者向け支援資金について等の説明も行われました。

パネルディスカッションでは北海道農政部の宮田大部長にコーディネーターを務めて頂き「諸外国からみた日本の酪農」をテーマにパネラーの方と意見交換を行いました。

パネラーには、枝幸町で農業研修中のタン・ウィルソンさん。チャンディア・ルシアンさん。ウー・チェンリンさん。1週間の牧場体験にきているチェン・チ・ジュさん。町内で研修し就農した孫叡さん、相虹さん夫婦。技能実習生として枝幸町に来町し中新井田さんと結婚されたファム・ティ・ビッグ・ゴックさんの8人。

研修中の方たちは、元々日本に興味があり来日。枝幸町の冬のつらさや食べ物の美味しさ、車がないと不便な点を話してくれました。

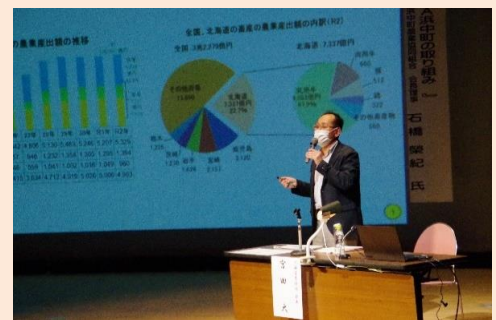
孫さんは「枝幸町は外国人が活躍できる可能性のある地域だ。」と話し「将来は酪農を続けながら地域の皆さんが集まれるようなレストランを開きたい」

また中新井田さんの妻ゴックさんは「大きな牧場にしたい。新しい家を建てたい」と、それぞれ将来の目標を語ってくれました。

最後に向井地組合長は、「誰も知らない土地に飛び込む度胸を既存の酪農家は学ばなければならぬ。酪農情勢が厳しい中、乗り越える意志と経営力が必要だ。沈んだ太陽は必ず昇る」と語り閉会の挨拶をしました。



JA浜中町
石橋榮紀会長理事による基調講演



北海道農政部
宮田大部長による講演



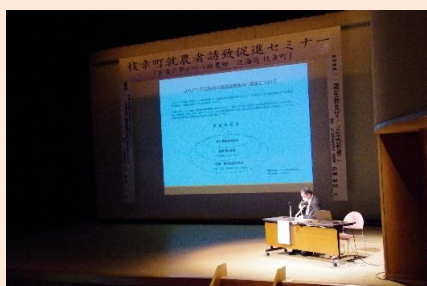
枝幸町農林課
永島朋弥主任による説明



JA宗谷南営農課
奥平起国課長による説明



北海道農業公社
千葉哲誠副考査役による説明



JA北海道信連旭川支所
大宅弘一融資課長による説明



パネルディスカッションの様子

北海道農政部長 牧場視察

枝幸町就農者誘致促進セミナーが行われた、翌日の8月24日、同セミナーで講演された、北海道農政部の宮田大部長による牧場視察が行われました。視察した牧場は畜産クラスター事業で規模拡大をした合同会社菊池ファーム、新規就農者の米田牧場、そして草地畜産基盤整備事業で新たに育成舎等を新築した枝幸町公共育成牧場の3か所を見て回り、経営状況の聞き取りや質疑応答等を行いながら、各施設内を視察しました。



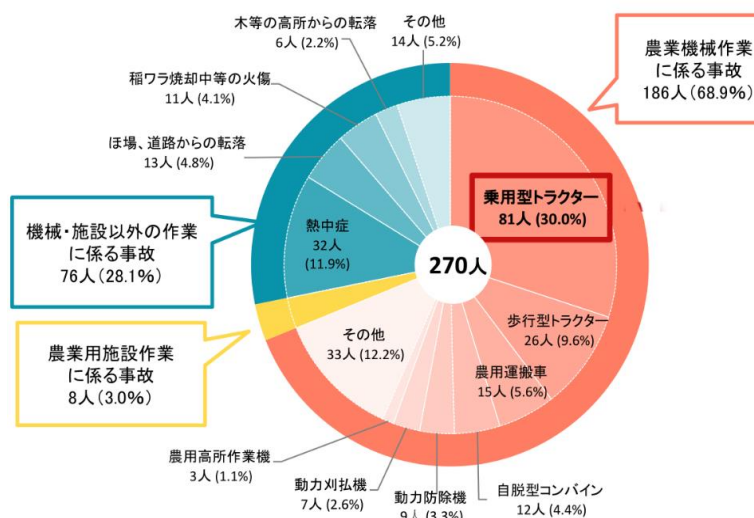
農作業中の事故及び「防災の日」について

現在、2番草の収穫作業真っ最中の状況だと思えますが、農作業中の事故が全国的に増加傾向にあります。又、当地区の組合員も農作業中の事故に見舞われ、今後の営農活動に支障を来す程の事故も発生しております。

農水省から出ている要因別の死亡事故発生状況を見ると、約7割が農業機械作業中に起きた事故で、中でもトラクター・運転中の転落・転倒が最大の要因となっております。トラクターが転倒・転落した時に安全キャブ・フレームの安全域に留まる為にはシートベルトの着用が必要で、トラクター等の交通事故により亡くなられた方のほとんどが、着用していなかったそうです。

又、9月6日はJAグループ北海道「防災の日」となっており、当農協も発電機の点検を5日に実施しました。まだ点検を行っていない方は今後農作業が続きますが、シートベルト着用、安全確認の徹底をして頂き、事故が起きないように気を付けて作業をお願い致します。

要因別の死亡事故発生状況（令和2年）



農作業死亡事故調査（農水省）

毎年9月6日は
**JAグループ北海道
「防災の日」**
9月1日から6日は
JAグループ北海道防災期間

点検日 年 月 日済

道北ホルスタイン共進会



ジュニアリザーブチャンピオンに輝いた
「オムラ AN アンドリユー」

8月20日、豊富地域家畜市場にて3年ぶりとなる道北ホルスタイン共進会が開催されました。当農協からは4戸11頭の出品となり、審査員には北見市の酪農家、山内誠氏を迎え、悪天候の中、乳牛としての資質を競い合いました。

今回のグランドチャンピオンは遠別町の佐久間陽生さん出品「レツド ブリツク SOL デュエマ コプシー」が選ばれました。JA宗谷南からは小椋義則さん出品2部1等1席の「オムラ AN アンドリユー」がジュニアリザーブチャンピオンに選ばれ、他の出品牛についても魅力あふれる素晴らしい乳牛でした。

各部門の上位入賞牛は、9月24日から2日間で安平町で行われる「北海道ホルスタインナショナルショウ」に出場されます。

部	順位	名 号	出品者
ジュニア	1等1席	オムラ フジサン ブラック 1	小椋 義則
第2部	1等1席	オムラ AN アンドリユー	小椋 義則
	2等4席	オムラークレスト レネゲード	小椋 孝則
第3部	2等11席	M. F トラミルダ ブラデルタ ミリー ET	関口 真也
第6部	1等2席	オムラ CB エントリー ET	小椋 義則
第9部	2等3席	オムラ ARK クリスト ET	小椋 義則
	2等7席	M. F クロフト ライフル ドアマン ET	関口 真也
第10部	2等4席	オムラ ブル アンドリユー	小椋 義則
第11部	1等1席	SEA-LAKE TM スパークリング リコライズ 6 ET	小椋 義則
第13部	2等2席	M. F トラミルダ ホワイト ドアマン ミリー ET	関口 真也
	2等5席	KON ルイスデール ゴールド ミツシー	今 賢二



審査員
山内誠氏

退職のご挨拶



営農部 部長
西澤昌志

昭和59年4月に旧歌登町農協の金融係として採用して頂いて、以来38年と4か月の永きに渡り、お世話になりました事に感謝申し上げます。

金融課を始め、営農課、平成21年の3月には歌登農協と北見枝幸農協が合併し、新農協、宗谷南農協が設立され、営農課長や歌登支所長を歴任し、平成29年4月には営農部長を拝命し、在職中は部長職を全う出来たか分かりませんが、役員の方々、先輩、職員の方々の助言を賜りながら仕事をさせて頂きました。今般、健康上の理由で退職する事になり、本当に長い間お世話になりました。

最後になりますが、酪農業・農協組織を取り巻く環境は、今後も更に厳しい状況にあり、又、目まぐるしく激動する社会情勢ではありますが、組合員、役職員が一体となり、乗り切って行かれる事を切に願うと共に、宗谷南農業協同組合の益々のご発展と組合員皆様方のご健勝とご繁栄を心からご祈念申し上げ退職の挨拶とさせていただきます。

北海道日本語学院札幌本校との連携協定書締結



協定書に調印する向井地組合長（写真左）と
日本語学院札幌本校の本田真里校長

8月9日、J A 宗谷南は北海道日本語学院札幌本校と相互連携協力の推進に係る連携協定書を締結しました。

日本語学院は、日本での進学、就職を目指す海外の若者が日本語を学ぶ学院となっており、同校の卒業生が、昨年2名、町内の牧場にそれぞれ就職。又、今年の春には1名がファームAYNIで働いております。

本協定は、農業に関心を持っている学生へ、枝幸町内の牧場を優先的に紹介すること等が盛り込まれており、同校では近年、就職希望者の中で農業を選択する学生が少しずつ増えてきており、卒業生を地域全体で見守ってくれている枝幸町なら、安心して送り出せるということから、本協定の締結に至りました。

今回の協定は、担い手確保の点はもちろんのこと、外国人の方の視点から、農業、地域の魅力を発信してもらい、若者が農業への誇りや、素晴らしさを再認識するきっかけになればと期待しており、今後さらなる地域酪農発展を目指すに当たり、連携の強化に努めて参ります。



立会人の平田代表監事（写真左）と吉田理事（写真右）

Aコープ職場体験

8月23日から2日間、Aコープに、歌登中学校2年生の滝口京花さんと鳥谷部滯さんの2名が職場体験学習に来ました。

レジ打ちや品出しの他、生鮮食品等の包装作業では、初めて使う梱包機に苦戦しつつも、見事に包装するなど、スーパールの基本となる業務を、幅広く体験しておりました。



残暑厳しい中ですが間もなく寒い時期に入っていきますので、今回は寒さによって牛が受けるストレスについてお伝えしていきたいと思います。

牛の寒冷ストレスの受け始めるタイミング

寒くなると、牛は体温維持に多くのエネルギーを必要とします。牛は本来、分厚く密度のある冬毛を纏うことで寒さに耐えることが可能です。ですがその準備には時間が掛かります。カナダのオンタリオ農業省は、牛の寒冷ストレスは被毛の状態によって 0℃～7℃から始まるというデータを示しています。

冬の初めに気温が急激に低下した場合、被毛の準備が間に合わず、より多くのダメージを受ける可能性があります。

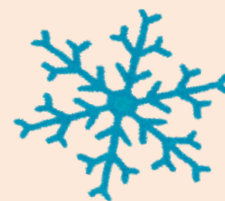
気温が低下した際の影響について



気温が氷点下まで低下すると、牛の体温維持に必要とするエネルギーが約10%以上増加します。また、氷点下では牛の食欲は増加します。牛はもっと飼料を食べようとし、乾物摂取量が5%～10%増加すると言われています。しかし水が冷たい場合、飲水量は減少します。摂取エネルギーが体温維持に使われたり、飲水量が減少すると、最終的には平均乳量が低下します。

しかし、現代の乳牛は外気温がマイナス5℃になっても乳量を維持しつづけます。これは、乳牛は 体温や乳量を維持するために、ボディコンディションを落としていることを示唆しています。

代謝や乳生産への影響



過去のデータでは、寒冷ストレスを受けた泌乳牛が示す反応がまとめられています（図1）。

図1：平穩期を100%とした時の、寒冷ストレス下の泌乳牛の要求量および生産成績。

外気温	維持エネルギー	乾物摂取量	飲水量	日乳量
10℃	100	100	100	100
5℃	103	100	100	100
0℃	110	101	96	100
-5℃	118	106	94	100
-10	126	109	87	93
-15	133	111	82	85





JA北海道中央会



◆SAPPORO COLLECTIONに出店!!



5月29日に開催された札幌コレクション(サツコレ)にJAグループ北海道のブースを出店し、若年層に対する北海道産のお米と砂糖の消費拡大などのPRを行いました。

当日は、北海道米LOVE又は、本会のInstagramをフォローして頂いた方に、道産食材を使用した限定ガールズ小結(おむすび)2個セット100個、限定苺団子300個をプレゼントし、多くの若者に足を運んでいただけました。

砂糖の消費拡大・イメージアップに向けた「天下糖一プロジェクト」のブースでは、OKASHI GAKUとのコラボで缶入りケーキ「ふわ缶〜ピンク〜」を特別価格で販売し、150個完売となる大盛況ぶりでした。

今後も北海道の食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、若年層への情報発信も強化してまいります。



JA北海道信連



◆人事交流

JAとJA北海道信連との間で相互に職員を出向させる「人事交流」をH22年度から実施しています。コロナ禍で中断していましたが、2年ぶりに再開し、今回は「JAそらち南」との人事交流です。この取り組みを通じ、JAバンク北海道の体制・機能強化と人材育成を図ってまいります。

◆よりぞうクラブ北海道

全道150名様に当たる「特産品カタログ」などのお得な情報を配信中!
「友だち登録」をお待ちしています!



JAバンク北海道 公式LINEアカウントできました。

よりぞうクラブ
北海道



JA共済連北海道



◆3台の救急車を寄贈

本年も地域社会貢献活動の一環として、道内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しています。

今年度は、滝川消防署・弟子屈消防署・稚内消防署に計3台を寄贈しました。

今年度の救急車を含めると、寄贈台数は累計で215台となりました。

今後も行政とJAとの連携を図りながら、組合員ならびに地域住民に安全・安心を提供し続けるよう努力してまいります。



(写真は、昨年度実績です)

ホクレン



◆北海道米の消費拡大イベントを開催

7月2日(土)に札幌ドームで行われた北海道日本ハムファイターズVSオリックスバファローズ戦に合わせて

『北海道米ななつぼしの日記念
ホクレン北海道農業応援DAY』
を開催しました。

当日は、北海道米の消費拡大に向け「記念ブース」と「日本酒試飲ブース」を設置し、来場者へサンプル配布やInstagramのプレゼントキャンペーンなどを展開しました。



JA北海道厚生連



◆札幌厚生病院で癒しの空間を提供

札幌厚生病院の本館入口に「タリーズコーヒー」がオープンしました。帯広厚生病院に次ぐ2店舗目となります。

5月10日のオープン当初より多くの患者様などにほっとできる癒しの空間としてご利用いただいています。

札幌厚生病院にお越しの際は、おいしいコーヒーでリフレッシュしてみませんか?

今後も地域の皆様に愛される取り組みを行ってまいります。

